

無意識に起こる反応 — 反射 —

熱いものに手がふれたとき、熱いと感じる前に思わず手を引、こめたり、刺激に対して無意識に起こる反応を



反射 という。

その他

- 口の中に食物が入ると自然に唾液が出る。
- 瞳の大きさが光の強さによって変化する。
- 前に転ぶとき、無意識に手が出た。
- 椅子に腰かけて足が床につかないようにぶら下げた状態で、ひざの下を軽くたたくと足先がひょんとはね上がった。

反射は（せきずい）からの命令で反応している。
大脳を介さずに反応を起こすことで経路が短くなり、
刺激を受け取ってから反応までの時間が短くなる。



危険から体を守ることができる。

